

平成27年白老町議会議案説明会会議録

平成27年 2月25日(水曜日)

開 会 午前10時00分

閉 会 午後12時10分

○議事日程

1. 白老町議会第1回定例会3月会議議案説明

○会議に付した事件

1. 白老町議会第1回定例会3月会議議案説明

○出席議員(14名)

1番	氏家裕治君	2番	吉田和子君
3番	斎藤征信君	4番	大淵紀夫君
5番	松田謙吾君	7番	西田祐子君
8番	広地紀彰君	9番	吉谷一孝君
10番	小西秀延君	11番	山田和子君
12番	本間広朗君	13番	前田博之君
14番	及川保君	15番	山本浩平君

○欠席議員(なし)

○説明のため出席した者の職氏名

副町長	白崎浩司君
教育長	古俣博之君
理事	山本誠君
総合行政局長	岩城達巳君
総合行政局財政担当課長	安達義孝君
総合行政局企画担当課長	高橋裕明君
総務課長	大黒克己君
町民課長	南光男君
生活環境課長	竹田敏雄君
産業経済課長	石井和彦君
産業経済課港湾担当課長	赤城雅也君

健康福祉課長	長澤敏彦君
健康福祉課高齢者介護担当課長	田尻康子君
上下水道課長	田中春光君
教育課長	高尾利弘君
教育課(仮称)食育防災センター開設準備担当課長	葛西吉孝君
病院事務長	野宮淳史君
消防長	中村諭君

○職務のため出席した事務局職員

事務局長	岡村幸男君
書記	葉廣照美君

◎開会の宣告

○議長（山本浩平君） 昨日に引き続き第1回定例会3月会議の議案等の関する議案説明会を開催いたします。

（午前10時00分）

○議長（山本浩平君） 次の日程に入る前に2月23日の説明会において前田議員の質問における答弁保留がありました。先にこの答弁をお願い致したいと思います。

大黒総務課長。

○総務課長（大黒克己君） 教育委員会の教育長の設置の関係でございまして、これにつきましては地方教育行政組織及び運営に関する法律の第3条におきまして教育委員会は教育長及び4人の委員をもって組織するという文言があります。ここで教育長を設置することが定められており必置規定ということで条例には特に規定していないということにしております。ちなみに副町長におきましては地方自治法の第161条において副市長設置するとしておりまして、ここも市町村に副町長を置くとこれも必置規定なのですが但し書きがありましてまずは条例で置かないことができる。条例を定めたいと置かないとできる部分と、もう一つは定数につきましては条例で定めるという規定がございますのでこれについて本町におきましても副町長定数は定数条例として定めているということでございます。以上です。

○議長（山本浩平君） それでは日程に入ります。

日程第1、議案第10号 平成27年度白老町国民健康保険事業特別会計予算の議案について、説明をお願いいたします。

南町民課長。

○町民課長（南 光男君） おはようございます。議案第10号でございます。

平成27年度白老町国民健康保険事業特別会計予算についてご説明いたします。予算総額は歳入歳出それぞれ34億8,517万9,000円の計上で前年度と比較して2億7,057万2,000円の増額でございます。

引き続きまして2ページ、「第1表 歳入歳出予算」と6ページの歳入歳出予算事項別明細書につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

歳出から説明させていただきます。40ページをお開き下さい。歳出でございます。1款総務費、1項1目一般管理費542万6,000円の計上でございます。国保運営による経費で前年額と比較して93万2,000円の減額でございます。主な減額につきましては国保情報データベースシステム改修委託料前年度比91万8,000円の減額でございます。

2目連合会負担金149万6,000、1万9,000円の減額でございます。国保連合会事務費負担金の減額でございます。続いて2項1目賦課徴収費923万5,000円、7万1,000円の減額でございます。（1）嘱託職員の人件費と676万4,000円、国保税徴収嘱託職員3名分の人件

費で前年度と比較して6万円の減額でございます。

続いて43ページお開き下さい。(2) 賦課徴収事務経費247万1,000円、前年度と比較して1万1,000円の減額でございます。賦課徴収に係る経費で事務経費削減に伴う減額でございます。

続いて3項1目運営協議会費18万5,000円、1,000円の増額でございます。国保運営協議会の運営経費でございます。続いて4項44ページお開き下さい。1目医療費適正化特別対策事業費198万4,000円、1万7,000円の増額でございます。(1) レセプト点検経費でレセプト点検1名分の人件費で前年度と比較して1万7,000円の増額でございます。

次に46ページをお開き下さい。2款保険給付費、1項1目一般被保険者療養給付費18億1,333万4,000円、1,007万6,000円の減額でございます。一般被保険者療養給付費につきましては26年度決算見込みにより前年度比0.6%減の計上でございます。2目退職被保険者等療養給付費1億5,801万8,000円、1,089万2,000円の減額でございます。退職者医療制度は60歳以上65歳未満の方が対象となっております。これにつきましても26年度決算見込みにより前年度比6.4%減の計上でございます。3目一般被保険者療養費1,458万3,000円、16万1,000円の減額でございます。26年度決算見込みにより前年度比1.1%減の計上でございます。4目退職被保険者等療養費148万8,000円、22万6,000円の減額でございます。26年度決算見込みにより前年度比13.2%減の計上でございます。5目審査支払手数料456万5,000円、4万9,000円の減額でございます。26年度決算見込みにより前年度比1.1%減の計上でございます。

続いて48ページをお開き下さい。2項1目一般被保険者高額療養費2億6,545万円、1,469万4,000円の増額でございます。26年度決算見込みによる前年度比5.9%増の計上でございます。2目退職被保険者等高額療養費3,183万4,000円、863万8,000円の減額でございます。26年度決算見込みによる前年度比21.6%減の計上でございます。3目一般被保険者高額介護合算療養費50万円、続いて4目退職被保険者等高額介護合算療養費20万円いずれも前年度と同額の計上でございます。続いて3項1目一般被保険者移送費10万円続いて2目退職被保険者等移送費10万円いずれも前年度と同額の計上でございます。

続いて4項50ページをお開き下さい。1目出産育児一時金924万5,000円、168万1,000円の増額でございます。1件42万円で22名分の計上でございます。続いて5項1目葬祭給付費97万5,000円前年度と同額の計上でございます。1件1万5,000円で65名分の計上でございます。

次に52ページをお開き下さい。3款後期高齢者支援金等、1項1目後期高齢者支援金3億1,765万6,000円、858万7,000円減額でございます。後期高齢者医療にかかわる保険負担分でございます。前年度比1.6%減の計上でございます。2目後期高齢者事務費拠出金2万2,000円、2,000円の減額でございます。これは運営経費に係る分でございます。

次に54ページをお開き下さい。4款前期高齢者納付金等、1項1目前期高齢者納付金15

万 3,000 円、5 万 8,000 円減額でございます。前期高齢者納付金は 65 歳から 74 歳被保険者で保険者間では偏在があるため負担の不均衡を各保険者での加入数に応じて調整している制度でございます。2 目前期高齢者事務費拠出金 2 万 3,000 円、1,000 円の減額でございます。

次に 56 ページをお開き下さい。5 款老人保健拠出金、1 項 1 目老人保健医療費拠出金 10 万円続いて 2 目老人保健事務費拠出金 2 万円いずれも前年度と同額の計上でございます。

次に 58 ページをお開き下さい。6 款介護納付金、1 項 1 目介護納付金 1 億 2,010 万 9,000 円、1,342 万 4,000 円の減額でございます。これは 40 歳から 65 歳までの介護 2 号被保険者により前年度比 10.2%減の計上でございます。

次に 60 ページをお開き下さい。7 款共同事業拠出金、1 項 1 目高額医療費拠出金 7,120 万 7,000 円、156 万 2,000 円の増額でございます。レセプト 1 件当たり 80 万円を超える医療費について市町村国保の保険料を平準化財政安定化を図るために拠出し交付金を受ける共同事業で高額医療費の増額を見込み前年比 2.2%増の計上でございます。2 目共同事業事務費拠出金 1 万円、前年度と同額の計上でございます。3 目保険財政共同事業拠出金 6 億 1,314 万 1,000 円、3 億 1,516 万 3,000 円の増額でございます。これはレセプト 1 件当たり 30 万円超え 80 万円までの医療費を対象としていましたが本年度より対象が 80 万円までの全ての医療費に拡大されたことから前年度比 105.8%増の計上でございます。

次に 62 ページお開き下さい。8 款保健事業費、1 項 1 目特定健康診査等事業費 1,784 万円、6 万 6,000 円減額でございます。(1) 特定健康診査事業経費 1,457 万 9,000 円、受診者数 1,854 人を見込んでおります。新たな取り組みとして若年層から受診を習慣づけし自らの健康状態に関心をもつことで疾患の早期発見、治療重症化予防につなげる目的として 40 歳から 5 歳きざみの節目年齢方を対象に定期健診、自己負担分 1,300 円を無料で実施するものがございます。受診者数 275 人を見込んでおります。前年度と比較して 6 万 6,000 円減額でございます。(2) 特定健康診査等未受診者対策事業 326 万 1,000 円、前年度と比較して 110 万 9,000 円の増額でございます。主な増額分は町内医療区間と連携し生活習慣病で通院されている方の情報を特定健診結果として利用する取り組みで受診勧奨業務委託料 108 万円の増額でございます。続いて 2 項 1 目保健衛生普及費 2,152 万 7,000 円、864 万 5,000 円の減額でございます。(1) 健康づくり指導経費 1,503 万 5,000 円、前年度と比較しては 1,113 万 3,000 円の減額でございます。計上内容については 65 ページをお開き下さい。主な減額は国保事業の保健指導推進に係る 1 名分と臨時職員の人件費で前年度と比較して 1,226 万 8,000 円減額でございます。主な増額は保健指導で活用するための国保データベースシステムの利用増設環境経費として 6 万 1,000 円と肺炎球菌予防接種委託料 139 万 5,000 円の増額でございます。(2) 国保保健指導事業経費 477 万 2,000 円、前年度比 76 万 8,000 円の増額でございます。計上内容は 67 ページでございます。主な増減は臨時職員の人件費 4 万 5,000 円増と事務経費で 72 万 3,000 円増で国の補充事業であります。国保ヘルスアップ事業経費対象経費でございます。(3) 国保ヘルスアップ事業経費 172 万円の計上でございます。26 年度から 28 年度の

3年間、単年度600万の国の助成を受けられます。現在取り組んでおります特定健診未受診者対策や生活習慣病の重症化予防対策についてデータ分析に基づく計画、実施、評価、改善のPDCAサイクルで効果的に保健事業で実施するための計上でございます。

次に68ページをお開き下さい。9款基金積立金、1項1目国民健康保険事業基金積立金1,000円、前年度と同額の計上でございます。

次に70ページお開き下さい。10款公債費、1項1目利子、(1)一時借入金利子30万円、70万円の減額でございます。前年度比70%減の計上でございます。

次に72ページお開き下さい。11款諸支出金、1項1目一般被保険者国保税還付金160万円、前年度と同額の計上でございます。2目退職者被保険者等国保税還付金20万1,000円、1,000円の増額でございます。3目償還金1,000円、前年度と同額の計上でございます。

次に74ページをお開き下さい。12款予備費、1項1目予備費300万円、前年度と同額の計上でございます。

次に77ページ以降の給与費明細書につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。歳出は以上でございます。

次に歳入を説明させていただきます。10ページをお開き下さい。歳入でございます。1款国民健康保険税、1項1目一般被保険者国民健康保険税3億7,848万1,000円、前年度と比較して643万5,000円減額でございます。世帯数及び世帯員数、総所得金額減少していることから前年度比1.7%減の計上でございます。収納率につきましては厳しい状況でございますけれども財政健全プランに基づき現年分91.02%前年度比0.38ポイント増、滞納繰越分7.3%、0.02%減の計上でございます。

次に12ページお開き下さい。2目退職被保険者等国民健康保険税3,656万6,000円、972万6,000円の減額でございます。すでに制度対象になった方のみで新規適応がないために年々非保険者数が減少することから前年度比21%減の計上でございます。収納率につきましては一般被保険者同様に厳しい状況でございますけれども財政健全プランに基づき現年度分97%滞納、繰越分90%いずれも前年度と同額の収納率の計上でございます。

次に16ページお開き下さい。2款国庫支出金、1項1目療養給付費等負担金4億8,258万7,000円、219万6,000円の増額でございます。これは一般被保険者の医療費の増額と前期高齢者交付金の減額が見込まれることから前年度比0.5%増の計上でございます。2目高額医療費共同事業負担金1,780万1,000円、39万円の増額でございます。高額医療費の増額を見込み前年度比2.2%増の計上でございます。

3目特定健康診査等負担金283万5,000円、8万円の増額でございます。特定健診等使用の3分の1を国が負担するものでございます。続いて2項1目財政調整交付金3億2,730万5,000円、639万9,000円の減額でございます。うち、収支不足分単年度赤字見込みの補てん分として1億2,585万4,000円を見込んでおります。

次に18ページお開き下さい。3款療養給付費等交付金、1項1目療養給付費等交付金2億

2,800万1,000円、392万円の増額でございます。退職医療制度の保険者数が減少しますが医療費が伸びておりますので前年比1.7%増の計上でございます。

次に20ページをお開き下さい。4款前期高齢者交付金、1項1目前期高齢者交付金9億6,414万8,000円、3,222万1,000円減額でございます。前期高齢者といわれる65歳から74歳の被保険者数等を基準に交付される制度で加入者と医療費が伸びておりますが前々年度の生産確定分が減額される見込みでございますので前年度比3.2%減計上でございます。

次に22ページをお開き下さい。5款道支出金、1項1目高額医療費共同事業負担金1,780万1,000円、39万円の増額でございます。高額医療費の増額を見込み前年比2.2%増の計上でございます。2目特定健康診査等負担金283万5,000円、80万円の増額でございます。特定健診費用の3分の1を北海道が負担するものでございます。続いて2項1目北海道国民健康保険調整交付金1億9,408万5,000円、5,947万円の増額でございます。普通調整交付金7,962万円で前年度と比較して1,013万8,000円の減額でございます。特別調整交付金1億1,446万5,000円で前年度と比較して6,960万8,000円増額でございます。主な増額分は歳出でご説明いたしました共同事業拠出金の財政共同事業拠出金経費と交付金の差額で拠出超過のなった場合に超過額から交付した1%控除した金額が特別調整交付金で処置されますので8,898万6,000円を見込み計上しております。主な減額分は歳出でご説明いたしました、8款保健事業費健康づくり指導経費の保健師指導の推進経費に対し管理栄養士1名分の人件費等250万円を見込んでおりますが前年度と比較して600万円の減額でございます。

次に24ページお開き下さい。6款連合会支出金、1項1目保健事業等推進給付金1,000円、前年度と同額の計上でございます。

次に26ページをお開き下さい。7款共同事業交付金、1項1目共同事業交付金7,405万4,000円、441万円の増額でございます。レセプト1件当たり80万円を超える高額医療費の増を見込み前年度比6.3%増の計上でございます。2目保険財政共同安定化事業交付金5億1,896万2,000円、2億3,886万3,000円の増額でございます。レセプト1件当たり30万円超え、80万円までの高額医療対象としてましたが本年度より対象が80万円までの全ての医療費に拡大されることから前年比85.3%増の計上でございます。

次に28ページをお開き下さい。8款財産収入、1項1目利子及び配当金1,000円、前年度と同額の計上でございます。

次に30ページをお開き下さい。9款繰入金、1項1目一般会計繰入金2億3,693万8,000円、1,632万1,000円の増額でございます。繰出基準による繰入金の計上でございます。事務費分1,6060万円、前年度と比較して512万3,000円の減額でございます。国保運営事務経費分と保健指導推進費ともなう保健師と人件費、町負担分の計上でございます。出産育児一時金分6,160万円、前年度と比較して84万円の増額でございます。次に財政安定化支援事業分7,327万1,000円で前年度と比較して533万円の増額でございます。次に保険基盤安定制度分1億1,716万9,000円、前年度と比較して1,498万5,000円増額でございます。福祉医療普

及増高分2,427万8,000円、前年度と比較して28万9,000円増額でございます。

次に32ページお開き下さい。10款繰越金、1項1目繰越金1,000円前年度と同様計上でございます。

次に34ページお開き下さい。11款諸収入、1項1目一般被保険者延滞金から1項1目町預金利子までの各計上額につきましては記載のとおり前年度同額の計上でございます。続いて3項1目特定健康診査等一部負担金135万9,000円、82万5,000円の減額でございます。続いて4項1目一般被保険者第3者納付金から4目退職被保険者等返納金までの各計上額につきましては記載のとおり前年度と同額の計上でございます。続いて5目雑入13万7,000円、5万8,000円の増額でございます。以上で白老町国民健康保険事業特別会計予算の説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） ただいま議案の説明が終わりました。

これより議案第10号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第10号の議案説明を終わります。

日程第2、議案第11号 平成27年度白老町後期高齢者医療事業特別会計予算の議案について、説明をお願いいたします。

南町民課長。

○町民課長（南 光男君） 議案第11号でございます。平成27年度白老町後期高齢者医療事業特別会計予算についてご説明いたします。予算総額は歳入歳出それぞれ2億7,860万8,000円の計上で前年度と比較して414万5,000円減額でございます。続きまして2ページ「第1表 歳入歳出予算」と6ページの歳入歳出予算事項別明細書につきましては記載のとおりでございますのでご説明を省略させていただきます。

歳出から説明させていただきます。22ページを開きください。1款総務費、1項1目一般管理費15万2,000円の計上でございます。制度運営に要する経費で前年度と比較して1,000円の減額でございます。2項1目徴収費236万4,000円の計上で保険料賦課徴収要する経費で前年度と同額の計上でございます。

次に24ページをお開き下さい。2款分担金及び負担金、1項1目広域連合分賦金、（1）広域連合負担金2億7,519万2,000円、414万4,000円の減額でございます。負担金の内訳としまして後期高齢者医療保険料負担金は被保険者から徴収した保険料の納付するものでございます。1億9,077万4,000円で前年度と比較して337万2,000円の減額でございます。続いて後期高齢者医療保険基盤安定負担金は保険料の軽減措置に対する財政支援分として納付するものでございます。低所得者の保険料軽減の拡充を見込み7,848万1,000円で前年度と比較して51万2,000円の減額でございます。続いて後期高齢者医療事務費負担金は北海道後期高

齢者医療広域連合の運営経費で均等割り、高齢者均等割り、市町村均等割りで算出された 593 万 7,000 円を納付するもので前年度と比較して 26 万円の減額でございます。

次に 26 ページを開きください。3 款諸支出金、1 項 1 目保険料還付金 85 万円の計上でございます。保険料の過誤納等により還付が発生した場合の還付に要する経費で前年度と同額の計上でございます。

次に 28 ページ開き下さい。4 款予備費、1 項 1 目予備費 5 万円、前年度同額の計上でございます。歳出は以上でございます。

次に 10 ページをお開き下さい。歳入でございます。1 款後期高齢者医療保険料、1 項 1 目後期高齢者医療保険料 1 億 9,027 万 3,000 円、前年度と比較して 337 万 2,000 円の減額でございます。1 節現年分特別徴収保険料 1 億 3,198 万 8,000 円前年度と比較して 162 万 8,000 円の減額でございます。続いて 2 節現年分普通徴収保険料 5,746 万円、前年度と比較して 136 万 9,000 円減額でございます。収納率につきましては 96.9%での計上でございます。滞納繰越分普通徴収保険料 82 万 5,000 円、前年度と比較して 37 万 5,000 円の減額でございます。収納率につきましては 15%の計上でございます。

次に 12 ページをお開き下さい。2 款繰入金、1 項 1 目一般会計繰入金 8,698 万 2,000 円、76 万 9,000 円の減額でございます。1 節事務費繰入金 850 万 1,000 円、25 万 7,000 円の減額でございます。2 節保険基盤安定繰入金 7,848 万 1,000 円は保険料軽減に対する負担で負担割合は北海道は 4 分の 3、町が 4 分の 1 でございます。前年度と比較して 51 万 2,000 円の減額でございます。低所得者に対する軽減措置の拡充を含め保険料金額を計上しております。

次に 14 ページお開き下さい。3 款繰越金、1 項 1 目繰越金 50 万円前年度と同額の計上でございます。

次に 16 ページを開きください。諸収入、1 項 1 目延滞金から 2 項 2 目還付加算金までの各計上額につきましては記載の通り前年度と同額の計上でございます。続いて 3 項 1 目預金利子 1,000 円、3,000 円の減額でございます。4 項 1 目雑入 1,000 円前年度と同額の計上でございます。

次に 18 ページ開き下さい。広域連合支出金につきましては事業廃止に伴って未計上でございます。以上で白老町後期高齢者医療事業特別会計予算の説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） ただいま議案の説明が終わりました。

これより議案第 11 号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第 11 号の議案説明を終わります。

日程第 3、議案第 12 号 平成 27 年度白老町公共下水道事業特別会計予算の議案について説明をお願いいたします。

田中上下水道課長。

○上下水道課長（田中春光君） 議案第12号でございます。平成27年度白老町公共下水道事業特別会計予算についてご説明いたします。歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ13億4,241万8,000円を計上するものでございます。

次に2ページの「第1表 歳入歳出予算」4ページの「第2表 債務負担行為」5ページの「第3表 地方債」につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。続きまして8ページの歳入歳出予算事項別明細書につきましても記載のとおりでございますのでご説明を省略させていただきます。

次に28ページの歳出のほうからご説明いたします。1款1項1目下水道総務費は5,706万9,000円で前年比386万3,000円の減でございます。説明欄（1）下水道業務一般事務経費5,558万円で前年比364万8,000円の減となっております。主な理由でございますが2節給料から4節共済費までで191万9,000円の減となっております。13節委託料、下水道使用料賦課徴収業務委託料1件当たりの単価の見直しにより前年比76万2,000円の増となっております。

次に31ページ、27節公課費消費、税納付金は前年度収支見込み額から算出し前年比で237万5,000円の減となっております。

次に（2）水洗便所普及排水整備促進経費は前年貸付実績等を踏まえ148万9,000円計上にしており前年比で21万5,000円減となっております。続いて2目下水道維持管理費につきましては5,236万円、前年と同額の計上となっております。説明欄（1）管渠維持管理経費は1,127万1,000円、前年比で42万6,000円の増となっておりますが管渠と修繕実績によるものでございます。

次に33ページ、（2）管渠維持管理事業、臨時分につきましては昨年に引き続き老朽管渠の更新と不明水対策で4,108万9,000円計上しております。更新箇所につきましては竹浦及び北吉原地区の老朽管渠補修工事を実施するほか竹浦地区の老朽化した公設樹の取り替えを予定しております。続いて3目処理場管理費につきましては1億8,461万4,000円で前年比58万6,000円の減となっております。説明欄（1）処理場管理経費、11節需用費の修繕料では処理場のポンプ修繕、蒸気配管修繕及びマンホール内ポンプ修繕などを予定しておりますが811万円、前年比38万5,000円の減の計上としております。15節工事請負費146万9,000円、前年比123万円減としております。

次に18節備品購入費103万5,000円こちらは前年比84万8,000円の増としておりますが老朽化した水質検査用備品等の更新を図ったものであります。

続いて34ページ、2項1目下水道施設費につきましては3億1,359万5,000円前年比1,338万2,000円増となっております。説明欄（1）管渠及び処理場整備費、13節委託料では調査及び設計に係る委託料が1,700万円、前年比で704万円の増としておりますが下水終末処理場の長寿命化計画に基づく改修工事に向けた実施設計を行うためのものであります。

15 節工事請負費では 2 億 6,613 万 2,000 円、前年比 646 万円増になっておりますが下水終末処理施設の機械、電気設備更新工事や施設上屋一部改修工事等に要する費用でございます。

続いて 38 ページ、2 款 1 項公債費、7 億 3,428 万円、前年比で 1,840 万 4,000 円増となっております。1 目元金、長期債元金償還費は 5 億 6,895 万 5,000 円、前年比で 2,833 万 9,000 円の増となっております。増加の主な要因は既存の借入債の定時償還に係る元金額の増によるものであります。なお平成 26 年度末の下水道事業債の現在高は 77 億 5,628 万 9,000 円となる見込みでございます。

次に 2 目利子につきましては 1 億 6,532 万 5,000 円、前年比 993 万 5,000 円減となっております。説明欄 (1) 長期債利子支払費 1 億 6,482 万 5,000 円、前年比で 993 万 5,000 円減となっております。減額の主な要因は既存借入債の定時償還に係る利息の減でございます。

次に 40 ページ、3 款 1 項 1 目予備費 50 万円につきましては前年同額を計上しております。続いて 12 ページのほうに戻りまして歳入についてご説明いたします。1 款 1 項 1 目都市計画下水道事業受益者負担金は 274 万 4,000 円、前年比 162 万 7,000 円となっております。1 節現年度受益者負担金 194 万 3,000 円で管渠布設事業休止に伴い賦課面積の減少により前年比 136 万 7,000 円減となっております。2 節滞納繰越は 80 万 1,000 円で前年比 26 万円減の計上となっております。

続いて 14 ページ、2 款 1 項 1 目下水道使用料につきましては 3 億 5,407 万 5,000 円、前年比 1,732 万 5,000 円増としております。調定件数につきましては減収傾向にありますが使用料の改定、平均 8% 引き上げによりその見合い分が増となっております。

次に 2 目生し尿処理施設使用料につきましては 400 万円、前年度実績に見込みをもとに前年と同額を計上しております。

次に 3 目下水道施設使用料につきましては 5 万 9,000 円、前年比 1 万 4,000 円の増となっております。

次に 2 項 1 目下水道手数料につきましては 12 万 6,000 円、前年比 1 万 4,000 円減となっております。前年度実績の見込みをもとに計上しております。

続いて 16 ページ、3 款 1 項 1 目都市計画事業補助金につきましては 1 億 5,040 万円、前年比 3,770 万円の増となっております。歳出の補助事業見合いにより計上しております。続いて 18 ページ、4 款繰入金、1 項 1 目一般会計繰入金 5 億 6,910 万 2,000 円、前年比 66 万 4,000 円増となっておりますが下水道使用料改定により増加の幅を抑えたとところでございます。

続いて 20 ページ、5 款 1 項 1 目繰越金につきましては 26 年度決算見込みにおいて繰越金を発生する見込みから 1,000 万円計上でするものでございます。

続いて 22 ページ、6 款 1 項 1 目延滞金、2 項 1 目町預金利子につきましては前年度同額を計上しております。

次に 3 項 1 目貸付金元金収入 139 万円、前年比で 22 万 5,000 円の減となっておりますが前

年度実績を踏まえての計上としております。2 目釣銭資金貸付元金収入につきましては前年度同額を計上しております。4 項 1 目雑入 10 万円につきましては処理場改築工事に伴うスクラップの売り払い収入を見込んでのものでございます。5 項 1 目消費税還付金については科目存置のため計上であります。

続いて 24 ページ、7 款 1 項 1 目下水道債 2 億 540 万円、前年比 2,660 万円の減となっております。説明欄、公共下水道事業債は 1 億 2,290 万円、前年比 2,840 万円の減となっております。昨年実施した不明水対策としての管渠整備事業が終了したことによるものであります。資本費平準化債は 1 億 1,590 万円、前年比 230 万円増となっておりますが公共下水道事業債（特別措置分）1,160 万円、前年比 50 万円の減となっております。43 ページから給与費明細書、51 ページからの地方債現在高見込額調書、53 ページ債務負担行為に関する調書は記載のとおりでありますので説明を省略させていただきます。以上で説明終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） 議案の説明が終わりました。

これより議案第 12 号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第 12 号の議案説明を終わります。

日程第 4、議案第 13 号 平成 27 年度白老町学校給食特別会計予算の議案について、説明をお願いいたします。

葛西食育防災センター開設準備担当課長。

○教育課（仮称）食育防災センター開設準備担当課長（葛西吉孝君） 議案第 13 号平成 27 年度白老町学校給食特別会計予算についてご説明いたします。予算の総額は歳入歳出それぞれ 6,610 万 1,000 円で前年比 374 万 7,000 円の減となっております。2 ページ「第 1 表 歳入歳出予算」及び 6 ページの歳入歳出予算事項別明細書の総括につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。まず歳出から申し上げます。16 ページをお開き下さい。1 款給食費、1 項 1 目給食材料購入費は 6,610 万 1,000 円、前年比 374 万 7,000 円、約 5.7%の減となっております。減額の要因といたしましては児童数、生徒数の減によるものでございます。1 週間の献立につきましては米飯 3 回、パン 1 回、麺 1 回。給食供給日数につきましては年間 190 日として昨年同の内容で計上してございます。なお平成 26 年度まで米飯、パン、牛乳、デザートなどの主食材料等購入費と主に野菜、肉などの温食等材料購入委託料として予算計上いたしておりましたが

27 年度より食材の購入につきましてはセンターの事務処理として行うとしたため需用費のまかない材料費として一括計上しているものでございます。以上、歳出の内容でございます。

次に 10 ページへお戻りください。歳入をご説明いたします。1 款諸収入、1 項 1 目学校給食費収入は 668 万 5,000 円、前年比 375 万 9,000 円、約 5.7%の減となっております。給食

費の1食単価は小学校低学年、高学年、及び中学校の3段階としており昨年度と同額となっております。収納率につきましては昨年度と同様、現年度分で98%、滞納繰越分で20%見込んでおります。

次に2項1目預金利子、3項1目消費税還付金につきましては科目存置のためそれぞれ1,000円を計上させていただきました。4項1目雑入1万2,000円は揚げ物調理により廃油の売り払いの収入を計上してございます。

次に12ページでございます。2款繰越金、1項1目繰越金は前年度繰越金1,000円を計上してございます。以上、学校給食特別会計予算の説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） ただいま議案の説明が終わりました。

これより議案第13号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第13号の議案説明を終わります。

日程第5、議案第14号 平成27年度白老町港湾機能施設整備事業特別会計予算の議案について、説明お願いいたします。

赤城港湾担当課長。

○産業経済課港湾担当課長（赤城雅也君） 議案第14号平成27年度白老町港湾機能施設整備事業特別会計予算についてご説明申し上げます。歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ6,028万1,000円を計上するものであり前年度比107万8,000円の増額でございます。

次のページ「第1表 歳入歳出予算」、4ページ第2表地方債及び6ページの歳入歳出予算事項別明細書の総括については記載のとおりでございます。歳出からご説明申し上げます。20ページお開き願います。1款港湾機能施設運営費、1項1目港湾機能施設運営費406万9,000円、前年比30万8,000円の増額です。11節需用費の光熱水費は電気料金の値上げに伴い14万5,000円の増額です。13節委託料の船舶給水業務委託料は実績見合いで1万8,000円の減額です。27節公課費は消費税、確定申告で24万9,000円の増額となっております。

次に22ページ、2款公債費、1項1目元金4,997万2,000円、前年度比157万5,000円の増額です。23節長期債元金償還金で事業費分4,216万8,000円、平準化債分709万4,000円、港湾施設整備分71万円でございます。

次に2目利子623万円、前年度比80万5,000円の減額です。利子償還金であります元金償還利子の減額でございます。

次、24ページ、3款予備費、1項1目予備費1万円の計上でございます。前年同額でございます。以上が歳出の内容でございます。

10ページをお開き願います。歳入です。1款使用料及び手数料、1項1目港湾使用料

1,484万5,000円で前年度比9万7,000円の減額です。公共上屋使用料は前年度と同額を計上しておりますが船舶給水施設整備使用料は利用船舶実績に合わせて9万7,000円減額計上です。

次に12ページ、2款財産収入、1項1目財産貸付収入98万6,000円で前年度比32万5,000円の増額でございます。ヤード利用企業の面積贈与のものでございます。

次に14ページ、3款繰入金、1項1目他会計繰入金2,865万円で前年度比105万円の増額でございます。赤字救済として一般会計からの繰入金で公債費の元金、増額分でございます。

次に16ページ、4款町債、1項1目港湾整備事業債1,580万円で前年度比20万円の減額でございます。資本費平準化債の借入でございます。算定基礎額の減に伴う減額でございます。以上が歳入でございます。最後に最終の28ページ地方債残高でございますが記載のとおりですが27年度末見込み額は3億5,277万7,000円でございます。以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） ただいま議案の説明が終わりました。

これより議案第14号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第14号の議案説明を終わります。

日程第6、議案第15号 平成27年度白老町墓園造成事業特別会計予算の議案について、説明をお願いいたします。

中村町民活動担当課長。

○生活環境課町民活動担当課長（中村英二君） 議案第15号でございます。平成27年度白老町墓園造成事業特別会計予算についてご説明申し上げます。予算総額でございますが歳入歳出それぞれ307万6,000円、前年度対比44万7,000円の減額でございます。

2ページ「第1表 歳入歳出予算」及び6ページの歳入歳出予算事項別明細書につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。16ページ開き願います。歳出からご説明申し上げます。1款1項公債費、1目元金253万4,000円であります。

次に2目利子54万2,000円でございます。以上が歳出の計上内容でございます。

次に10ページへ戻り願います。歳入でございます。1款使用料及び手数料、1項使用料1目墓園使用料307万6,000円で前年度対比44万6,000円の減でございます。以上が歳入の内容でございます。最後に24ページの地方債、現在高見込み額につきましては記載のとおりです。以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） ただいま議案の説明が終わりました。

これより議案第15号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第 15 号の議案説明を終わります。

日程第 7、議案第 16 号 平成 27 年度白老町介護保険事業特別会計予算の議案について、説明をお願いいたします。

田尻高齢者介護担当課長。

○健康福祉課高齢者介護担当課長（田尻康子君） 議案第 16 号平成 27 年度白老町介護保険事業特別会計予算につきましてご説明いたします。予算総額は歳入歳出それぞれ 20 億 6,535 万 5,000 円で前年比 7,942 万円の増額となっております。

2 ページの「第 1 表 歳入歳出予算」と 6 ページの歳入歳出予算事項別明細書総括につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

それでは歳出から説明させていただきます。30 ページをお開き下さい。1 款総務費、1 項 1 目一般管理費 378 万 4,000 円の計上で介護保険事業運営上に係る共通経費で前年比 13 万 2,000 円の増額でございます。2 項 1 目賦課徴収費 213 万 5,000 円、前年比 1 万円の増額で介護保険料の賦課徴収に係る経費でございます。32 ページをお開き下さい。3 項 1 目介護認定審査会費 222 万 1,000 円、前年比 2 万 6,000 円の増額で介護認定審査に係る経費でございます。2 目認定調査費 1,203 万 7,000 円、前年比 26 万 9,000 円の増額で介護認定調査に係る経費でございます。34 ページをお開き下さい。4 項 1 目趣旨普及費 4 万 3,000 円、前年度と同額で介護保険制度の趣旨普及に係る経費でございます。5 項 1 目計画策定費 3 万 7,000 円、前年比 14 万円の減額で、これにつきましては平成 26 年度におきまして第 6 期介護保険事業計画策定にかかわる報酬等が減額となっております。

36 ページをお開き下さい。2 款保険給付費に全体につきましては第 6 期介護保険事業計画に基づき居宅分 801 人、施設分 286 人、計 1,087 人分、総額 19 億 7,729 万 8,000 円の給付費を計上しており前年比 7,514 万 8,000 円の増額となっております。2 款保険給付費、1 項 1 目介護給付費 16 億 7,055 万 6,000 円の計上で前年比 6,532 万 1,000 円の増額で要介護 1 から要介護 5 までの介護サービスの介護給付費でございます。2 目介護予防給付費 1 億 3,973 万 1,000 円、前年比 3,569 万 2,000 円の増額で要支援 1 と要支援 2 の介護予防サービス予防給付費でございます。3 目審査支払手数料 183 万 1,000 円の計上で前年比 27 万円の増額でございます。2 項 1 目高額介護サービス費 4,893 万 7,000 円の計上で前年比 811 万 8,000 円の減額でございます。38 ページをお開き下さい。3 項 1 目特定入所者介護サービス費 1 億 0,962 万 8,000 円の計上で前年比 1,853 万 3,000 円の減額でございます。これにつきましては介護保険再施設入所者と短期入所利用者で低所得段階の方に対する食費及び居住費に対する補足給付費でございます。制度改正により平成 27 年 8 月から一定以上の所得者に対する負担割合を引き上げる分を緩和し減額となっております。2 目特例特定入所者介護サービス費 1 万円の計上で前年度と同額でございます。3 目特定入所者支援サービス費 1 万円の計上で前

年比 16 万 4,000 円の減額でございます。これにつきましては要支援認定者で低所得段階の方に対する短期入所者の食費、居住費の不足給付でございます。4 目特例特定入所者支援サービス費 1 万円の計上で前年度と同額でございます。40 ページをお開き下さい。4 項 1 目高額医療合算介護サービス費 658 万 5,000 円の計上で前年比 68 万円の増額でございます。これにつきましては医療費と介護サービス費の一部負担金の合計額が上限額を超えた分に給付するものでございます。

次に 42 ページをお開き下さい。3 款地域支援事業費、1 項 1 目介護二次予防高齢者施策事業費 315 万 7,000 円で前年比 8,000 円の減額でございます。これにつきましては主に二次予防高齢者該当者に対する通所介護で事業、委託経費等でございます。2 目介護一次予防高齢者施策事業費 2,596 万 6,000 円の計上で前年比 1,042 万 9,000 円の増額でございます。これにつきましては高齢者健康づくり事業経費で介護予防活動の育成支援、知識普及啓発などの経費でございます。44 ページお開き下さい。2 項 1 目総合相談事業費 1,797 万 9,000 円の計上で前年比 814 万円の減額でございます。これにつきましては地域包括支援センターの総合相談事業及び地域型在宅介護支援センターの業務委託経費でございます。

46 ページをお開き下さい。2 目権利擁護事業費 27 万 2,000 円の計上で前年比 9 万 6,000 円の減額でございます。これにつきましては成年後見制度推進検討会議、講演会開催経費、パンフレット購入費の費用などでございます。3 目任意事業費 1,908 万 9,000 円の計上で前年比 129 万 8,000 円の増額主に配合サービスの食費の増額によるものでございます。48 ページをお開き下さい。4 目生活支援体制整備事業費 38 万 2,000 円は新規事業で民間や NPO など関係者と協議をする場を設け新規包括ケアシステム構築に向けた取り組むための経費です。

次に 50 ページをお開き下さい。4 款基金積立金、1 項 1 目介護給付費事業基金積立金 5 万円前年度と同額で介護保険事業基金運営利息でございます。52 ページをお開き下さい。5 款公債費、1 項 1 目利子一時借入金利子 10 万円計上で前年度と同額でございます。54 ページをお開き下さい。6 款諸支出金、1 項 1 目第一号被保険者保険料還付金 79 万 4,000 円、前年比 11 万円の増額で過年度分、介護保険料の還付金でございます。2 目還付金は科目存置でございます。56 ページをお開き下さい。7 款予備費、1 項 1 目予備費 1 万円につきましては前年度と同額の計上でございます。

続きまして歳入の説明に入らせていただきます。10 ページをお開き下さい。1 款介護保険料、1 項 1 目第 1 号被保険者介護保険料 4 億 1,947 万 3,000 円で前年比 5,896 万 9,000 円の増額でございます。これにつきましては第 6 期介護保険事業計画に基づき被保険者数 7,096 人としております。収納率 98.31%を見込んでおります。12 ページをお開き下さい。2 款分担金負担金、1 項 1 目地域支援事業負担金 838 万 7,000 円で前年比 148 万 6,000 円の増額でございます。これにつきましては二次予防高齢者通所介護事業負担金と配食サービス負担金でございます。14 ページをお開き下さい。3 款国庫支出金、1 項 1 目介護給付費負担金 3 億 3,640 万 1,000 円で前年比 1,485 万円の増額でございます。これにつきましては保険給付金に

における国負担割合で施設分が15%、その他分が20%となっております。2項1目調整交付金1億2,476万8,000円で前年比816万6,000円の増額でございます。国の負担割合は5%が基本でございますが後期高齢者数や所得状況により6.31%を見込んでおります。2目地域支援事業交付金、介護予防事業分720万7,000円、前年比260万2,000円の増額でございます。これにつきましては介護予防事業における国の負担割合は25%となっております。3目地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）分1,154万円、前年比332万5,000円の減額でございます。これにつきましては包括的支援事業・任意事業における国の負担割合は39%となっております。16ページをお開き下さい。4款道支出金、1項1目介護給付費負担金3億0,622万2,000円で前年比957万3,000円の増額でございます。これにつきましては保険給付費における道負担割合で施設分17.5%、その他分12.5%となっております。2項1目交付金及び2目貸付金はいずれも科目存置でございます。3項1目地域支援事業交付金、介護予防事業分360万4,000円、前年比130万1,000円の増額でございます。これにつきましては道の負担割合は12.5%となっております。2目地域支援事業交付金、（包括的支援事業・任意事業）分577万円、前年比166万3,000円の減額でございます。これにつきましては道の負担割合は19.5%となっております。18ページをお開き下さい。5款支払基金交付金、1項1目介護給付費交付金5億5,364万4,000円で前年比2,020万円の増額でございます。2目地域支援事業支援交付金807万2,000円で前年比273万1,000円の増額でございます。ただいまの1目介護給付費交付金及び2目地域支援事業交付金負担割合は22%となっております。20ページお開き下さい。6款財産収入、1項1目利息及び配当金5万円で介護保険事業基金の運用利息でございます。22ページをお開き下さい。7款繰入金、1項1目介護給付費繰入金2億4,716万3,000円で前年比939万4,000円の増でございます。2目地域支援事業繰入金、介護予防事業分360万4,000円で前年比130万1,000円の増額となり1目及び2目の町負担割合は12.5%でございます。3目地域支援事業繰入金、包括的支援事業、任意事業分577万円、前年比166万3,000円減額となっております。町の負担割合は19.5%でございます。4目その他、一般会計繰入金1,019万6,000円、前年比30万円の増額でございます。これにつきましては歳出でご説明いたしました1款総務費に係る繰入金でございます。2項1目介護保険基金繰入金337万2,000円、前年比2,663万2,000円の減額でございます。24ページをお開き下さい。8款繰越金、1項1目繰越金は科目存置でございます。

続きまして26ページをお開き下さい。9款諸収入、1項1目第1号被保険者延滞金から3項2目返納金までは、いずれも科目存置でございます。3目雑入10万5,000円の計上で臨時職員等の雇用保険料、個人負担分でございます。これで歳入のほうを終わらせていただきます。

次に59ページ以降の給与明細書につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。以上で説明を終わらせていただきます。以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君）　ただいま議案の説明が終わりました。

これより議案第 16 号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第 16 号の議案説明を終わります。

ここで暫時休憩といたします。

休 憩 午前 11 時 11 分

再 開 午前 11 時 25 分

○議長（山本浩平君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

日程第 8、議案第 17 号 平成 27 年度白老町立介護老人保健施設事業特別会計予算の議案について、説明をお願いいたします。

長澤健康福祉課長。

○健康福祉課長（長澤敏博君） 議案第 17 号平成 27 年度白老町立特別養護老人ホーム事業特別会計予算についてご説明いたします。歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ 5,156 万 1,000 円で前年比 30 万 5,000 円の増額となっております。2 ページ「第 1 表 歳入歳出予算」と 6 ページ歳入歳出事項別明細書総括につきましては記載のとおりでありますのでご説明を省略させていただき歳出からご説明いたします。18 ページお開き下さい。1 款総務費、1 項 1 目一般管理費 45 万 2,000 円、前年比 30 万 5,000 円の増で修繕料及び火災保険料であります。20 ページ、2 款基金積立金、1 項 1 目特別養護老人ホーム事業基金積立金 2 万円で事業基金運用利息の積立であります。前年度と同額でございます。22 ページ、3 款公債費、1 項 1 目元金 4,170 万 1,000 円、前年比 76 万 5,000 円の増で長期債元金償還金であります。2 目利子 938 万 8,000 円、前年比 76 万 5,000 円の減で長期債利子償還金と一時借入金利子償還金であります。26 ページの地方債現在高見込み額調書につきましては記載のとおりでありますので説明を省略させていただきます。続きまして歳入をご説明いたします。10 ページお開き下さい。1 款財産収入、1 項 1 目利子及び配当金 2 万円で事業基金運用利息で前年度同額でございます。2 項 1 目土地建物貸付収入 1 万円前年と同額であります。12 ページ、2 款繰入金、1 項 1 目一般会計繰入金 2,437 万 5,000 円で前年比 96 万 3,000 円の減額であります。2 項 1 目特別養護老人ホーム事業基金繰入金 30 万 5,000 円で修繕料見合い分であります。14 ページ、3 款諸収入、1 項 1 目雑入 2,685 万 1,000 円でホテルコスト分の収入であります。27 年度より短期入所 10 床のうち 5 床を一般入所居室に転嫁することで前年比 96 万 3,000 円の増額であります。以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） ただいま議案の説明が終わりました。

これより議案第 17 号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第 17 号の議案説明を終わります。

日程第 9、議案第 18 号 平成 27 年度白老町立介護老人保健施設事業特別会計予算の議案について、説明をお願いいたします。

野宮病院事務長。

○病院事務長（野宮淳史君） 議案第 18 号平成 27 年度白老町立介護老人保健施設事業特別会計予算についてご説明させていただきます。平成 27 年度の歳入歳出予算額は 1 億 225 万 8,000 円であり前年度に比較して 7 万円の減額となっております。本年度のきたこぶし入所者予定数でございますけれども 1 日平均 25 人、平均介護度 3.0 と設定しております。また職員数につきましては介護職 5 名、介護スタッフ 8 名、介護支援専門員 1 名、病院との兼務職員として医師及び理学療法士を各 1 名、配置することで考えてございます。

次に 2 ページ、3 ページの「第 1 表 歳入歳出予算」5 ページから 7 ページの歳入歳出予算事項別明細書は記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。それでは歳出からご説明させていただきます。

20 ページお開き願いたいと思います。1 款総務費、1 項 1 目一般管理費 8,378 万 1,000 円で前年度に比較しまして 301 万 8,000 円の減額でございます。本年度は正職員の看護師 1 名を臨時職員としたことによる人件費相当額の減及び介護保険支援システムの町一括管理に伴う賃借料・保守料の減が主な減額の要因となっております。続きまして 22 ページでございます。2 款サービス事業費、1 項 1 目施設介護サービス事業費 1,787 万 7,000 円で前年度に比較しまして 294 万 8,000 円の増額でございます。主な増額の要因でございますけれども入所者の 1 人当たり平均定期投薬料（いわゆるお薬代でございます）この上昇に伴います医療材料費の増と介護用品、看護用の備品費との増額によるものでございます。24 ページでございます。3 款公債費、1 項 1 目利子 50 万円で前年度と同額でございます。これにつきましては一時借入金限度額 5,000 万円分の利子、償還金としての予算措置でございます。26 ページでございます。4 款予備費、1 項 1 目予備費 10 万円で前年度と同額の予算措置でございます。次の 29 ページから 35 ページまでの給料費明細書につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。続きまして歳入についてご説明いたします。10 ページお開き願います。1 款サービス収入でございますけれども冒頭申し上げましたとおり平均入所者数 25 人、平均介護度 3 として設定しております。1 項 1 目施設介護サービス収入費 8,646 万円で前年比較して 86 万 7,000 円の増額でございます。2 項 1 目自己負担金収入 1,563 万円で前年度に比較して 95 万 3,000 円の減額でございます。12 ページでございます。2 款 1 項 1 目寄附金につきましては科目存置でございます。14 ページでございます。3 款 1 項 1 目繰越金につきましても科目存置でございます。16 ページでございます。4 款諸収入、1 項 1 目介護保険受託収入 3 万 9,000 円でございますけれども主治医意見書作成料を実績見合いで計上して

ございます。また2項1目預金利子につきましても科目存置でございます。3項1目雑入は12万6,000円の計上で臨時職員の雇用保険料、本人負担分等でございます。以上で説明を終了させていただきます。

○議長（山本浩平君） ただいま議案の説明が終わりました。

これより議案第18号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

2番、吉田和子議員

○2番（吉田和子君） 2番、吉田です。2015から介護報酬の引き下げということを国で打ち出しました。平均2.27%減なんですけど、それぞれの施設のあり方とか、個々に全部違うんですがこの町立病院でやっている老人保健施設はどのように介護報酬の減額には影響しないのか、その点だけ伺っておきます

○議長（山本浩平君） 野宮病院事務長。

○病院事務長（野宮淳史君） 私どもそちらのほうもちょっと調査しまして介護の担当のほうからお話聞きますとやはり町立病院のきたこぶしの方にも影響が出るというお話をうけとります。ところで約2.27%の減額でございますので収入的には200万円程度下がる見込みでございます。

○議長（山本浩平君） ほかございませんか。8番、広地紀彰議員。

○8番（広地紀彰君） 1点だけです。1月末時点で入所率、入所数の平均速報値そのところお知えていただけますか。

○病院事務長（野宮淳史君） 26年度末の1月までの平均でございます。入所も平均入所数が21.2人、平均介護度が2.75でございます。本日の入所者数でしましては27名の入所となっております、ちょっと12月末からですから入所数がふえてきまして本日現在27人で2月末と3月末までは、大体このぐらいの数字でいけるとお思いますので平均入所者数、若干ふえのではないかなと考えております。

○議長（山本浩平君） ほかございませんか。なければ質疑なしと認めます。

これをもって議案第18号の議案説明を終わります。

日程第10、議案第19号 平成27年度白老町水道事業会計予算の議案について、説明をお願いいたします。

田中上下水道課長。

○上下水道課長（田中春光君） 議案第19号でございます。平成27年度白老町水道事業会計予算についてご説明いたします。まず1ページ、第2条に記載の業務の予定量は積算の基礎となる主な項目を記載しております。（1）給水予定戸数は前年度実績に近年の減少率を補正して9,417戸見込んでおります。前年比で63戸減となっております（2）1日平均給水量は前年度使用実績をもとに算出して4,901立法メートル前年度比で36立法メートル増としております。（3）年間総給水量179万3,640立方メートル前年比1万7,928立方メートル増と

しております。(4) 主な建設改良事業としては老朽管塩ビ管の更新など配水施設改良事業が1億300万円、前年比32万円の減の計上、浄水場計装設備更新など浄水施設備事業で1,008万円、前年比8,564万8,000円減の計上としております。

続いて2ページ、第3条収益的収入及び支出の予定額でございます。収入、水道事業収益は3億9,372万7,000円、支出、水道事業費用は3億8,350万2,000円でございます。当該年度において利益剰余金は101万7,000円が見込まれています。

次に第4条資本的収入及び支出予算額につきましては資本的収入5,000万円、資本的支出は2億3,027万8,000円で財源として不足する額1億8,027万8,000円は第4条本文に括弧書きに記載のとおり当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金で補てんするものであります。

次に3ページ、第5条企業債、第6条一時借入金、第7条予定支出の各項の経費の金額の流用、第8条議会の議決を経なければ流用することのできない経費、第9条たな卸資産購入限度額は記載のとおりでございます。続きまして4ページ、5ページの水道事業会計実施計画、6ページのキャッシュフロー計算書、7ページから9ページの給料費明細書10ページの債務負担行為に関する調書、11ページの平成26年度予定損益決算書、12ページから15ページの平成26年度予定貸借対照表、27年度予定貸借対照表については記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。続いて16ページ、追記については財務諸表作成における会計方針等について記載しております。

次に17ページ、水道事業会計予算事項別明細書(1)総括については記載のとおりでありますので説明を省略し、19ページ(3)収益的支出からご説明いたします。1款水道事業費用、1項1目給与費については予算額6,702万2,000円、前年比361万3,000円増となっております。これは職員の関係間異動に伴ってのものでございます。2目原水及び浄水費については予算額5,057万1,000円、前年比573万7,000円の減となっております。内訳は手数料で21万6,000円の増となっておりますが委託料で291万6,000円減、修繕費102万8,000円の減さらには前年予算計上した工事請負費が終了したことで182万9,000円減とした結果によるものでございます。

次に20ページ、3目配水及び給水費については予算額3,703万6,000円、前年比49万4,000円の増となっております。説明欄(1)配水管・給水管の事故普及費に係る経費は1,119万9,000円、前年比39万2,000円の減で前年度実績に基づいた計上となっております。(2)検満量水器更新に係る経費に1,985万4,000円、前年比75万9,000円の増ですが検満工事予定件数増加によるものでございます。(3)配水管維持管理費に係る経費598万3,000円、前年比12万8,000円の増ですが修繕単価等の見直しによるものでございます。

次に21ページ、4目受託工事費については前年同額の予算となっております。次に5目総係費については1,961万6,000円、前年比179万1,000円の減となっております。説明欄の(1)水道料金調定に係る経費、(2)水道料金収納に係る経費、(3)上下水道事業運営審

議会経費については、ほぼ前年度並みとなっております。(4) 水道料金及び財務会計の電算処理経費につきましては431万4,000円で前年比243万7,000円の減ですが昨年更新作業を行った水道料金システムの改修が終了したことによるものであります。

次に22ページ、(5) 水道事業一般経費349万3,000円で前年比82万7,000円の増となっております。公用車車検整備に係る手数料、公課費、保険料及び貸倒引当金などの増によるものです。次に6目減価償却費については1億4,563万9,000円、前年比575万5,000円の増となっております。平成26年度末で保有する資産に対し減価償却するものですが2カ年事業で実施した浄水場急速ろ過設備更新分の償却開始等に伴い増加したものでございます。次に7目資産減耗費については903万4,000円、前年比308万3,000円の増ですがこれは石山地区で進めてきました老朽管更新工事が一定区間の切りかえが終了したことにより除却資産として発生したものによるものでございます。

続いて23ページ、2項営業外費用、1目支払利息及び企業債取扱諸費については2,480万3,000円、前年比128万2,000円減となっております。内訳は34節の企業債利息の減であります。次に2目消費税につきましては942万4,000円、前年比718万6,000円の増となっております。前年比較で事業料が減少することにより、その見合い仕入税額が減少することによってのものでございます。続いて3項特別損失、1目過年度損益修正損については前年度並みでございます。2目その他特別損失1,880万円については退職給付引当金所要額を5年間で分割して計上したものでございます。続いて4項1目予備費につきましては前年同額の計上としております。続いて18ページに戻りまして、(2) 収益的収入についてご説明いたします。1款水道事業収益、1項1目給水収益については3億4,046万4,000円、前年比488万4,000円の増としておりますが、一部の大口事業所における使用量の増加などそういった実績を踏まえて算出してのものでございます。次に2目受託工事収益316万4,000円、前年比19万円の増ですが前年度実績見込みをもとに計上してございます。次に3目その他の営業収益につきましては16万6,000円こちらも前年度実績を踏まえて計上としております。

続いて2項営業外収益、1目受取利息及び配当金について7万5,000円、前年比3万円の減、他会計で貸付金の利息について計上しております。

次に2目長期前受金戻入3,409万6,000円、前年比169万2,000円の増ですがこれは補助金等により取得した資産の減価償却見合い分をここで示すものでございます。

次に3目雑収益については1,576万1,000円、前年比79万9,000円の増となっております。下水道使用料調定受託収入の単価アップに伴い増額計上しています。続いて3項特別利益、1目過年度損益修正益について科目存置のための計上であります。これで収益的収支の説明を終わり次に資本的収支をご説明いたします。25ページ、(5) 資本的支出からご説明いたします。1款資本的支出、1項1目配水施設改良費については1億300万円、前年比32万円の減ですが本年度も引き続き老朽管の更新事業を続けてまいります。実施地区につきましては石山

旭化成団地内及び北吉原 12 間沿い分譲団地の一部予定しており更新延長は 3,234 メートルを実施するほか竹浦二番通り沿えの配水管も改良工事 197 メートルの実施を予定しております。2 目浄水施設整備費については 1,008 万円、前年比 8,564 万 8,000 円の減ですが 2 カ年事業で実施した、ろ過設備更新工事が終了したことによるものでございます。

次に 3 目有形固定資産購入費については 2,200 万 4,000 円、前年比 352 万 7,000 円の減となっております。新設、更新等に必要な水道メーター購入や料金調定業務に使用する公用車の更新経費を計上するものでございます。続いて 2 項 1 目企業債償還金については 9,519 万 4,000 円、前年比 604 万円の増でございます。26 年度施工事業に係る借り入れ分の返済が加わることによる増でございます。なお、26 年度末の起債元金の未償還残高は 13 億 2,791 万 8,000 円となっております。続いて 24 ページ、(4) 資本的収入ついてでございます。1 款 1 項 1 目企業債については 5,000 万円、前年度比 4,000 万円の減となっております。老朽管更新事業の財源となるものでございます。

次に 2 項 1 目建設改良補助金については公共工事における補償工事分を見込み計上するものでございますが、今年度は予測される工事がないたため未計上としております。以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） ただいま議案の説明が終わりました。

これより議案第 19 号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第 19 号の議案説明を終わります。

日程第 11、議案第 20 号 平成 27 年度白老町立国民健康保険病院事業会計予算の議案について、説明をお願いいたします。

野宮病院事務長。

○病院事務長（野宮淳史君） 議案第 20、号平成 27 年度白老町立国民健康保険病院事業会計予算についてご説明させていただきます。27 年度の病院事業会計につきましては前年度において公立病院特例債の元利償還が終了したことに伴います一般会計からの繰入金減額によります予算編成となっております。まず 1 ページ、第 2 条記載の業務予定量につきましては病床数前年同様 58 床としてございます。また年間患者数及び 1 日平均患者数につきましては病院経営改善計画の患者数目標値を基本ベースに、入院につきましては前年度と同様に 1 日平均入院患者数 33 人また外来は 1 日平均患者数 125 人と設定してございます。平成 27 年度は、うるう年に当たることから入院の年間患者数につきましては 1 万 2,078 人で前年度比較 33 人の増でございます。また外来患者数は外来日数が前年度比較 2 日の減になりますので総患者数は 3 万 375 人で前年度比較 250 人の減でございます。第 3 条収益的収入及び支出の予定額でございます。詳細の説明につきましては事項別明細書等によってご説明させていただきます。収入

の第1款病院事業収益は8億3,942万6,000円、支出の第1款病院事業費用は同額の8億3,942万6,000円でございます。2ページ目でございます。第4条資本的収入及び支出の予定額につきましては収入の第1款資本的収入728万円、支出の第1款資本的支出同額の728万円でございます。なお、資本的収入支出でございますけれども本年度が最終年度となります病院企業債の償還金支出でございます。第5条の債務負担行為につきましては平成21年度に導入し6年が経過した給食栄養総合管理システム更新に伴う貸借でございます。続きまして第6条一時借入金から3ページの第9条たな卸資産購入費までは記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

次に4ページ、5ページの平成27年度の病院事業会計実施計画書、6ページの予定キャッシュフロー計算書、7ページから11ページの給与費明細書、12ページの債務負担行為に関する調書、13ページの平成26年度予定損益計算書、14ページから17ページまでの平成26年度の予定貸借対照表、平成27年度予定貸借表につきましては記載とおりですので説明は省略させていただきます。

続きまして18ページの注記でございますけれども財務諸表作成における会計方針等について記載してございます。

続きまして次のページ、19ページでございますけれども病院事業会計予算事項別明細書になってございます。この表につきましては総括表でございますので説明を省略させていただきます。それでは21ページの収益的支出からご説明させていただきます。1款病院事業費用、1項1目給与費につきましては予算額4億6,104万1,000円であり前年度比較760万1,000円の増額となっております。給与費につきましては臨時看護師及び病棟の看護補助者いわゆるヘルパー職の増員と看護補助者の時間単価のアップによる賃金の増額等が主な要因となっております。分別の内訳でございますけれども説明欄の(1)事務部門につきましては正職員2名、嘱託職員3名及び臨時職員1名の人件費を見込んでございます。(2)医局部門につきましては常勤医師3名、嘱託外科医1名の人件費を見込んでございます。

次に22ページになります。22ページの(3)看護部門につきましては26年度1名の途中退職がございましたので退職者補充を含めた看護師24名、准看護師1名の正看護師25名の人件費及び臨時看護師5名、2階病棟看護助者10人の賃金を見込んでございます。また、(4)薬局部門につきましては嘱託薬剤師1名の人件費を見込んでございます。23ページから24ページでございますけれども、(5)検査部門、(6)放射線部門、次ページの(7)栄養部門、(8)機能訓練部門の診療技術の職員につきましては前年同様の計6人分の人件費を見込んでございます。

次に25ページでございます。2目材料費につきましては予算額が7,260万1,000円でありまして前年比較322万2,000円増額でございます。薬品費につきましては前年度実績見合いで予算計上してございますけれども老朽化した整体情報モニター、心電図記録とかガス立体炊飯器等の医療及び給食消耗備品費等の増額が主な要因となっております。

26 ページでございます。3 目経費につきましては予算額が 2 億 8,420 万 2,000 円でありまして前年度比較 1,371 万 9,000 円増額でございます。説明欄（1）事務部門につきましては予算額 5,909 万 4,000 円でありまして前年度の実績見合いで計上しておりますけれども前年比較で 99 万 8,000 円の増額でございます。

続きまして 27 ページでございます。医局部門につきましては予算額 7,481 万 7,000 円でありまして平日の外来出張医の宿当直の増がございまして前年度と比較して 434 万 6,000 円の増額でございます。

続きまして 28 ページでございます。（3）看護部門につきまは予算額 1,224 万 1,000 円でありまして前年度実績見合いで計上してございますけれども病棟の製氷機、加湿器等の消耗備品費等を新規増加によりまして前年度と比較いたしまして 1,01 万円の増額でございます。

（4）薬局部門につきましては予算額は 34 万 8,000 円でございます、これは前年度実績見合いで計上してありまして前年度比較いたしまして 3,000 円の増額でございます。

続きまして 29 ページでございます。（5）検査部門につきましては予算額 2,775 万円でありまして臨床検査の業務委託の委託料の増加によりまして前年度比較いたしまして 179 万 3,000 円の増額でございます。（6）放射線部門につきましては予算額 794 万 4,000 円でありまして前年度実績見合いで計上してありまして前年度比較で 21 万円の増額になってございます。29 ページ下段から 30 ページでございます。（7）栄養部門につきましては予算額 3,577 万 2,000 円ございまして、ほぼ前年度実績見合いで計上してございますけれども、栄養管理総管理システム更新に伴います賃借料の増加に伴いまして前年度比較といたしまして 77 万 7,000 円の増額でございます。（8）機能訓練部門につきましては前年同様の予算額 29 万 8,000 円を計上してございます。（9）施設部門につきましては予算額 6,593 万 8,000 円であり前年実績見合いにより計上してございますけれども燃料費、光熱水費及び院内外の設備の修繕費等の増額によりまして前年比較 469 万 6,000 円の増額でございます。

続きまして 32 ページでございます。4 目減価償却につきましては予算額 1,694 万 4,000 円とありまして前年度比較 1,552 万円減額でございます。こちらの減額につきましては新会計基準の移行に伴いまして補助金で取得した固定資産みなし償却が廃止されたことから前年度において過去の補助金相当額一括して減価償却いたしましたけれども本年度以降は、この残っている未償却分を順次減価償却することから大幅な減額になってございます。5 目資産減耗費につきまして予算額 34 万 1,000 円でありまして前年度比較 9,000 円の減額でございます。6 目研究研修費につきましては予備費 150 万円であり前年度実績見合いにより計上してありまして前年度比較 8 万 1,000 円の増額でございます。

続きまして 2 項医業外費用でございますけれども予算額 269 万 6,000 円でありまして前年度比較 11 万 6,000 円減額でございます。1 目支払利息及び企業債取扱諸費につきましては予算額 58 万 5,000 円でありまして公立病院の特例債の償還費用に伴います企業債利息の減額によりまして前年度比較 100 万 2,000 円の減額でございます。2 目雑損失につきましては前年度

同額の2万円の予算計上でございます。

続きまして3目消費税につきましては予算額209万1,000円で前年度比較88万6,000円の増額でございます。3項特別損失、1目過年度損益修正損につきましては前年度と同額の1,000円の予算計上でございます。2目その他の特別損失につきましては職員手当につきましては新会計基準移行に伴います前年度予算のみの計上でございます。また貸倒引当金、繰入金につきましては3目経費に予算を繰り返したことににつきまして3,074万3,000円の減額になってございます。4項1目予備費につきましては前年度同額の10万円を予算計上してございます。以上で支出の説明を終わりました20ページの収益的収入に戻り願います。収益的収入についてご説明いたします。1款病院事業収益、1項医療収益につきましては5億4,884万円でありまして前年度比較292万4,000円の増額となっております。冒頭に業務の予定量についてご説明させていただきましたけれども町立病院の経営改善計画と患者数の目標値を基本ベースといたしまして前年度と同様に入院が1日平均患者数33人、外来1日平均患者数125人として見込んで試算してございます。また入院及び外来の1日当たり医療費は前年度同額と見込んだうえで、1目入院収益につきましては2億8,987万2,000円で前年度比較79万2,000円の増額といたしまして、2目外来収益につきましては2億1,262万5,000円で前年度比較175万円の減額とし、それぞれ予算計上としてございます。また、予防接種、各種健診収益の公衆衛生活動収益とその他医療収益につきましては実績見合いで計上してまして前年度比較388万2,000円を増額し予算計上してございます。

次に2項の医療外収益につきましては予算額2億9,058万5,000円でありまして前年度比較535万9,000円増額でございます。2目他会計補助金は前年度比較2,002万6,000円の一般会計からの繰入金2億7,195万円予算計上してございます。3目患者外給食収益前年度実績見合いの3,300万円計上してございます。4目長期前受金戻入につきましては予算額45万4,000円でありまして前年度比較1,448万4,000円の減額となっております。前年度におきまして新会計基準の移行に伴いまして補助金で取得した固定資産のみなし償却が廃止されたことから過去に受けた補助金を一括して長期前受金戻入に計上しまして先ほどご説明しました減価償却費相当額と同額を収益として戻入していましたが本年度以降は未償却分のみの毎年度の随時収益でございますので大幅な減額となっております。5目その他の医療外収益につきましては前年度実績見合いの1,488万円を計上してございます。3目特別利益につきましては予算額1,000円でありまして前年度比較7,500万円の減額でございます。これは前年度において公立病院特例債の元金償還が終了したことに伴います予算減額でございます。収益的収入と支出の説明を終わらせていただきます。

次に33ページお聞き願いたいと思います。1款資本的収入、1項1目出資金につきましては予算額728万円で前年度比較875万6,000円の減額でございます。これは一般会計から繰入金でございます。1款資本的支出、1項1目企業債償還金につきましては予算額728万円で前年度比較8,375万6,000円減額でございます。最後になりますけれども資本的収入を含

む一般会計からの繰入金総額でございますけれども2億7,923万円でございますして前年度比較6,373万円の減額になってございます。また、病院の経営改善計画に基づきます平成27年度一般会計繰入金予定額2億8,477万7,000円との比較では554万7,000円の減額となっております。以上で病院事業会計予算についてご説明終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） ただいま議案の説明が終わりました。

これより議案第20号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第20号の議案説明を終わります。

以上をもちまして第1回定例会3月会議の議案説明は全て終了いたしました。

なお本会議は3月9日午前10時から再開いたしますので各議員におかれましては出席方よろしくお願をいたします。

◎閉会の宣告

○議長（山本浩平君）

これもちまして議案説明会を終了いたします。